

【企画委員会報告】

大瑠璃祭(学園祭)で学友会相談コーナーを開設しました

企画委員 野間 和夫(短大2回生)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止のため、2021年大瑠璃祭(学園祭)は、ビンゴ大会のみ行われ、一般参加者を参集させない厳しい開催方式を余儀なくされ、変則的な開催方式となりました。厳しい状況下でしたが、大学、学友会本部役員の皆様の御理解と御協力により、今回は相談会のみ令和3年10月30日(土)に「2021年大瑠璃祭(学園祭)学友会相談コーナー」を例年同様に開設しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためPPEが徹底された環境下で、

- ・サージカルマスクの着用。
- ・学友会相談員間、学生参加者間にバリアを作るため、アクリル板衝立の設置。
- ・眼の防護具(ゴーグル(シールド))着用。

で完全予約制での対面相談をおこない例年とは異なる様相となりました。

参加人数は、学友会相談員30名、学生参加者52名と多数参加いただけました。学友会相談役の卒業生は幅広い世代のメンバーに参集頂けました。相談時間は1回あたり15分で、10時から15時まででしたが、相談時間の15分は短く感じました。

学生からの相談は主として就職先の選択方法でした。希望施設の選択方法の相談、希望施設の方向性は決めている学生に二分される形でおられました。また、具体的な就職先希望施設を挙げられる方もおられました。何れの場合も可能であれば、希望施設の見学を勧めました。参加学生はメモを取り、傾聴している姿をみて、熱心な学生が多くおられたと感じました。学生にとって就職活動前に諸先輩方と相談する機会は、貴重な時間になったと思いました。

学友会といえば、交流を大事にする会です。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策下で、飲食の制限もあり、時間・場所を分散して昼食も取りました。学生達による模擬店等もありませんでしたので、学生との交流の面では残念でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策下のなか、対面での学友会相談コーナーを開設できたことは有意義であったと思います。

来年は、新型コロナウイルス感染症も終息し、大瑠璃祭が開催されることを期待します。

ご多忙にも関わらず、ご出席していただきました理事の皆様、卒業生の皆様、大学の皆様へ感謝し、報告とさせていただきます。

【相談員および大学スタッフ】

玉田 彰会長(53回生)、西谷源展副会長(44回生)、錦 成郎副会長(54回生)、出石弘伸企画委員長(57回生)、池 和秀氏(65回生)、野間和夫理事(短2回生)、黒田大悟理事(短3回生)、谷口奈美氏(短8回生)、杉山淳子理事(短12回生)、上田幸弘氏(短15回生)、西岡謙次氏(短16回生)、西山智博氏(大3回生)、阪西克哉(大4回)、足達美香氏(大5回生)、岩本大成氏(大6回生)、村上智裕氏(大6回生)、吉田隆人氏(大6回生)、小森将樹氏(大6回生)、田中祐衣氏(大6回生)、村主瀬成氏(大9回生)、川上聖人氏(大9回生)、大沼稜氏(大10回)、片岡 環氏(大11回生)、西村彩香氏(大11回生)、中西有里氏(大11回生)、藤原佑記氏(大11回生)、橋戸了哉氏(大11回生)、辻居賢一理事(短15回生)松尾 悟氏、赤澤博之氏、小山 博氏(京都医療科学大学)



以上